

令和8年熊本地震 被害状況と復旧・復興

令和8年7月28日に発生した「令和8年熊本地震」により、本町においても家屋をはじめ、道路などに大きな被害が発生しました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。地震発生以降、不安な日々を過ごされながら、復旧にご尽力されている皆さまに、改めて敬意を表します。

現在までに確認された本町内の住家被害は、半壊3件、準半壊10件、一部損壊94件となっています。また、リ災証明書の申請は122件、被災証明書の申請は193件となっています。このうち、自己判定方式による申請が39件、被害認定調査の対象が83件で、78件の調査が完了し、5件が未調査となっています。（9月2日現在）

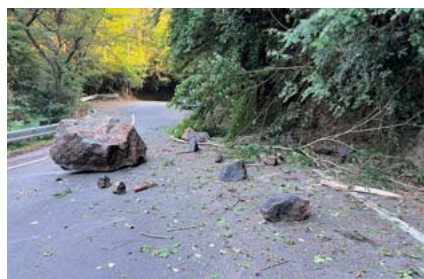
道路については、地震による落石や土砂崩れにより、多くの路線が通行止めとなりましたが、復旧作業を進め、順次通行止めを解除しています。なお、鶴ヶ淵大多良線や津留線など、一部の路線については、引き続き通行止めとなっています。

本町では、引き続き被害状況の把握と復旧に取り組むとともに、関係機関と連携し、被災された皆さまの一日も早い生活再建と地域の復旧・復興に努めてまいります。

災害支援に関する情報は、15ページ「熊本地震関係」をご覧ください。



森林管理局から救援物資を受け取る様子



滝下赤木舞岳線落石



通行止めの津留線



地震の影響により、外壁に亀裂が発生している様子

受け継がれる伝統と復興への願い 「火伏地蔵祭り」開催



8月22日、馬見原商店街で「火伏地蔵祭り」が行われました。午後5時から町内を巡る約20人の小中学生による火伏太鼓の引き回しが実施され、力強い演奏で地域を盛り上げました。その後、火伏大祭式典や火伏祈願よど参りが執り行われました。今年は熊本地震の影響で規模を縮小しての開催となり、花火の打ち上げは延期されましたが、町長の挨拶を含め一連の行事が無事終了しました。参加者たちは地域の歴史ある伝統を改めて振り返り、今後の復興への願いを込めたひとときを過ごしました。